

2010年8月24日

鎌倉市長 松尾 崇 様  
鎌倉市教育長 熊代徳彦 様

図書館とともだち・鎌倉  
代表 阿曾千代子

学校図書館への司書配置について (要望)

日頃より鎌倉市の教育行政にご尽力いただきありがとうございます。

鎌倉市立小学校の学校図書館には、2006年度より一校専任の学校図書館専門員の配置が始まり、子どもたちの読書環境整備が進んできています。しかし、現時点で2校への配置が完了しておりません。また、中学校図書館は全校が複数校兼任の読書活動推進員に委ねられていますが、中学校図書館にも、一校専任の司書が必要です。以上のことから下記要望いたします。

要望事項

- ① 鎌倉市立小学校全校への学校図書館専門員の配置を来年度で必ず完了して下さい
- ② 鎌倉市立中学校全校へも、学校図書館専門員を配置して下さい
- ③ 学校図書館専門員は、原則司書有資格者を配置してください
- ④ 定期的かつ充実した司書研修を実施してください

要望理由

子どもたちは一日一日成長していきます。心身ともに伸び盛りで、感受性豊かな生徒たちにとって、読書環境の整備が一年先送りにされることの影響は少なくありません。残る2校にも早急に専門員を配置してください。

さらに、教科ごとに担当の異なる中学校では、それぞれの調べ学習における教諭と学校司書の密な連携は大きな力を発揮します。週1日しか学校にいない読書活動推進員では先生方も推進員も十分な読書活動推進が行えない、という切実な現場の声を聞いています。授業を支える学校図書館の役割は大変重要であり、資料の管理・提供には本来専任の学校司書の存在が不可欠です。生徒の学習環境を整えるだけでなく、教師とその授業を支えるためにも必要です。

一方、中学校時代は子どもの本から大人の本への移行に戸惑う時期でもあります。この時期に、生徒一人一人と向き合い、本を手渡してくれる「人」は大変重要です。中学校図書館へも司書資格を有する学校図書館専門員の配置を早急に進めて下さい。

また、配置された推進員、専門員が意欲を持って学校図書館を運営していくために、実務を学ぶとともに学校図書館のあり方を考える機会として、充実したより多くの研修を勤務内で行う必要があると考えます。

子どもたちの読書環境、学習環境を整えることは、豊かな社会を築く一歩です。そして私たち大人の責任です。なお一層のご尽力をお願いいたします。

以上

\*なお、ご回答は文書にてお願いいたします。

鎌市相第22-309号

平成22年9月22日

図書館とともだち・鎌倉  
代表 阿曾 千代子 様

鎌倉市長 松尾 崇

## 学校図書館への司書配置について (回答)

平成22年8月24日付でご提出いただきました、上記の件につきましては、教育委員会が所管しておりますので、次のとおり教育長の回答を送付させていただきます。

ご要望いただきました件につきましては、いずれも読書活動を推進する上で、児童生徒のためには、とても大切な内容であると考えますが、財政事情等も踏まえ検討しますと、やはり段階的に進めていくことが必要となります。

そこで、ご要望いただいている内容について、現在の取組の様子をお伝えします。

今年度、小学校は学校図書館専門員を16校中、14校に14名を配置しています。平成23年度については、2名増員して小学校すべてに学校図書館専門員を配置する予定です。また、学校図書館専門員は、原則司書の有資格者となっています。

中学校への学校図書館専門員の配置については、今後の財政事情を踏まえつつ、計画を立てていきたいと思えます。

最後に、研修についてですが、現在年間2回の研修を実施しており、学校図書館専門員と読書活動推進員は、必ず受けることとしています。

毎年、中央図書館の協力や、県立図書館の協力を得ながら、研修を進めているところですが、よりよい研修となるよう検討を進めながら、今後も研修の充実を図っていきたいと考えます。